

令和6年11月後半分青果物使用品名と産地(11/18～11/30)

～生産(地)の状況～

11月も中盤, 秋冬野菜に切り替わる時期となり, 市場にはきれいな秋野菜が並ぶはずであるが, 9～10月の猛暑による深いダメージと, 先月の台風の影響による雨で, 鹿児島をはじめとする期待をしていた各産地にも被害をもたらしている。この事により, これから楽しみな秋料理に使う野菜が高値の状態が進むのではないかと懸念している。

No	品名	産地
1	じゃがいも	北海道産
2	洗いさといも	県内・大分・宮崎産
3	さつまいも	県内産
4	人参	県内・北海道産
5	キャベツ	県内産
6	玉ねぎ	北海道産
7	もやし(小)	熊本市産
8	もやし(大)	大分産
9	ピーマン	県内産
10	胡瓜	熊本市産
11	ごぼう	青森産
12	青ネギ	熊本市産
13	白ネギ	県内・九州産
14	ほうれん草	熊本市産
15	チンゲン菜	熊本市産
16	小松菜	熊本市産

No	品名	産地
17	にら	熊本市産
18	セロリ	福岡・長野産
19	レタス	県内・長崎産
20	洗いレンコン	熊本市産
21	白菜	県内・九州産
22	大根	県内・九州産
23	にんにく	青森産
24	生姜	県内産
25	南瓜	北海道・ニューカレドニア・メキシコ産
26	えのきだけ	長崎産
27	本しめじ	福岡産
28	エリンギ	長崎産
29	水菜	熊本市産
30	みかん	熊本市産
31	りんご	長野産

食材の主な産地が、原子力災害対策本部が出した「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」の対象(放射性物質検査対象地域)自治体1都16県のものには、食品中の放射性セシウムスクリーニング法(厚生労働省)に準拠して、本市においても検査を実施しています。

※検査結果は、不検出でした。(測定下限値はセシウム-134、セシウム-137合計で25Bq/Kgです。)

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。